

8月の予定

2018年7月20日
野毛山幼稚園



主 題	ゆったりと
ねがい	私たちの平和な日々を感謝し、神さまの望まれる平和の大切さを共に考え、祈る。 家族や保育者とゆったりとした夏の生活を過ごす。 いろいろな人と出会って楽しい経験をする。

聖句 あんしんしなさい。わたしだ。おそれることはない。

マルコによる福音書6章50節

イエスさまは、弟子たちに船で向こう岸にわたるようにならされた。ところが船に乗った弟子たちは逆風で悩まされ、荒れる湖の上で、悪戦苦闘していました。山の上で祈っておられたイエスさまは、その弟子たちの様子もご存知でした。夜が明ける頃、弟子たちが力尽きていた時、イエスさまは湖の上を歩いて弟子たちに近づかれました。幽霊だと思って怖くて慌てふためいた弟子たちに「安心してさい。わたしだ。恐れることはない。」と言われました。暗い湖にいた弟子たちにとってイエスさまの言葉は力強かったことでしょう。イエスさまはいつも考えられる方法で近づいてくださいます。逆風とは、普段の生活の中だけでなく、この世の成り行き、動向、世論であるかもしれません。小さなことにも動揺してしまう私たちに、「安心してさい。私がいつも一緒にいるのではないか」と言ってくださるのです。

予 定

日	曜	予 定	備 考
29	水	緑陰保育	午前中保育
30	木	緑陰保育	午前中保育
31	金	緑陰保育 のげやまフェスティバル	午前中保育 こひつじはありません

八月や、六日、九日、十五日
はちがつや、むいか、このか、じゅうごにち
広島原爆の日 長崎原爆の日 終戦記念日

この川柳にもあるように、8月は日本にとって「平和」について考えなくてはならない時です。

毎日のように事故や事件が起こり、大切な命が奪われています。真の平和はいつ実現するのでしょうか。私たちは本当に小さなものですが、あきらめず、希望をもって、私たちのできることをしていきましょう。

戦後73年。戦争のために苦しんだ人たちが、また、今なお苦しんでいる人たちがたくさんいることを知り、おとなも子どもも戦争の悲惨さにふれる機会を大切にしたいと思います。

- ◇「平和」ってなんだろう…
それぞれの年齢に応じて考え、具体的にどうしたらよいか、身近なことで考える機会を持ちましょう。
仲良くする お友だちのことを考える
嫌な気持ちになることを言ったり、やったりしない…等
- ◇神さまからいただいた「いのち」を大切に思う
- ◇平和に安心して暮らせないお友だちがいることを知る。

シャローム…イスラエルの国の挨拶のことばです。ヘブライ語で「平和」を意味しますが、単に争いのないことではなく、力と生命に溢れた状態でもあります。「シャローム」は「平和」という意味の他、「平安」「平穩」などの意味もあります。わたしたちの社会全体が、イエスさまの注いでくださる愛と平安の中に生きるものとなりたいたいと思います。

シャローム



年 長 (あやめ組)	年 中 (さくら組)	年 少 (たんぼぼ組)
規則正しい生活をおくる。 自分でできるお手伝いを続ける。 お祈りの生活をする。 食前のお祈り 一日の終わりの祈り… 公共のマナーを守って過ごす。 さまざまな経験を通して感性豊かな生活をおくる。 緑陰保育に参加し友だちとの再会を喜びあう。 園生活のリズムを取り戻す。	規則正しい生活をおくる。 自分でできるお手伝いを続ける。 お祈りの生活をする。 食前のお祈り 一日の終わりの祈り… 公共のマナーを守って過ごす。 さまざまな経験を通して感性豊かな生活をおくる。 緑陰保育に参加し友だちとの再会を喜びあう。 園生活のリズムを取り戻す。	規則正しい生活をおくる。 できることは自分でするようにする。 食事の前にお祈りをする。 公共でのマナーを知って守る。 はじめてのこともやってみる。 緑陰保育に参加し友だちとの再会を喜びあう。 園生活のリズムを取り戻す。

読んでみよう 考えてみよう

子どもたちと「平和」を考え、分かち合うために、絵本を読んでみませんか？
戦争に関する本はたくさん出ていますが、今、わたしたちの中にある問題を考えていくのはどうしたらいいでしょうか。平和の本は選ぶのがとても難しいです。まず、お母さんが読んで感じて、難しい言葉は直して読んだり話したりしてください。(貸出希望の場合は、事務所まで)

